

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都鷹峯ホテル新築工事(客室棟)	階数	地上4F
建設地	京都市北区衣笠鏡石町44-1他	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域,第2種住居地域,準防火地域 指定なし	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2019年10月5日
敷地面積	40,360.72 m ²	作成者	西川学
建築面積	3,425.23 m ²	確認日	2019年10月15日
延床面積	10,543.50 m ²	確認者	佐藤 盛信



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	90%
③上記+②以外の	90%
④上記+	90%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.5
温熱環境	3.0
光・視環境	2.8
空気質環境	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

機能性	2.3
耐用性	2.8
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

地球温暖化	3.4
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	耐久性の高い材料を採用し、ライフサイクルコストを低減しており、断熱性能が高く省エネルギー性が高い。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能: T-2。そして、客室にF☆☆☆☆を使用している。また、客室に大きな開口を設置している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	外皮性能が高い。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物に対して90%。
Q2 サービス性能	耐用年数が高い内装仕上げ材を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	LGSを使用している。また、吹付け硬質ウレタンフォームA種を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される